

しりとリセンテンス

Class_____ No._____ Name_____

技能・形態・時間	書く(文づくり) グループ(3~4人) 5分
この帯のねらい	前の人の文の「最後の単語」を使って次の文を作る、グループのリレー作文。I like dogs. → Dogs are cute. → Cute animals make me happy. 語のつながりが文のつながりを生む帯。

やり方 毎回この流れ(先生の英語の合図で始まる)

- 1 First player writes one sentence.
1人目が自由に1文書く(短くてOK: I like music.)
- 2 Next player starts with the last word.
次の人は前の文の最後の単語を最初に使って1文(Music is my life.)
- 3 Keep the relay going. How many in three minutes?
3分間リレーを続け、グループで何文つながったか数える
- 4 Read your chain aloud together!
できた文のくさをりを、グループで1文ずつ音読

ルール

- ・前の文の最後の語を、次の文のどこかではなく「最初」に使う
- ・意味が通らない文はノーカウント(グループ判定)
- ・人名・数字で終わらせて次の人を困らせるのはアリ(笑)

きろく やるたびに記録しよう(のびていく自分が見える)

回	日付	つながった文の数	ひとこと(できたこと・次の目標)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☆レベルアップ! 「今週の文法しぼり」(全文に比較級を入れる等)で単元練習に。最後の音読で「一番おもしろい流れ」をクラスでシェアすると、偶然生まれた珍文が教室の共有ネタになる。

先生へ(この帯活動の運用)

文単位のしりとりは、語彙の想起と文構成を同時に回す書く帯。「最後の単語の品詞」によって次の文の型が決まる(名詞なら主語に、形容詞なら補語に)ので、品詞感覚が自然に育つ。つまりグループには「be動詞の文でつなげばOK」の救済ルールを。回収して次週の語順ビルドの出題素材にすると循環する。